加工場の

など

無人・ネッ インスタなど

完成間近

たい」と話すのは、静岡市葵区でワサビ15~と茶2 と共に農家を続けることで、地域を活性化していき

(静岡支局)

「新しい試みを取り入れながら、父

収穫したワサビ

山間地で父と二人三脚

づけたい

診を栽培する杉山喜紀さん(24)。 指して奔走している。 (6)と協力し、中山間地域にある俵峰の活性化を目 心山 喜紀さん 父の喜太郎さん

部出身だ。大学時代は農業 されてきたが、 ることで地域の景観は維持 を巡る問題解決の一つとし 太郎さん。喜紀さんは農学 っていくばかり」と話す喜 **俵峰について「農家がい** 継承者は減 る滝が外気に触れて凍った

来は市場出荷中心だった ット販売、写真共有アプリ を生かして販売を強化。従 紀さんは、 ぐ手法を研究した。 「インスタグラム」を使っ 地域の将来を危惧する喜 生産者と消費者をつな 無人販売やインターネ 学生時代の経験

な販売手法を探る。喜紀さ たプロモーションなど新た 「俵峰では近年、流れ の大会に選手やコーチとし として活躍する喜紀さんは 後の構想が膨らむ」と話す。 声』を直接聞くことで、 中学生時代から陸上選手



光客と会話をし『消費者の

に挑戦できるのが農業の魅あれば、自ら発案し、自由て参加している。「意欲が

農業の傍ら、長距離や駅伝

販売手法を模索 訪れる人が増えている。そ『氷瀑』を、ハイキングで ている。時間を見つけて観 の登山口で無人販売を行っ

ワサビを手に笑顔を見せる杉山さん親子

と両立ができている」と話 力。農業だからこそ、 陸上

今

新たな試み後押-収入保険に加入

る。 みへの後押しにもなっていでき、喜紀さんの新しい試 た農業経営を見込むことが 加入のきっかけだ。 コロナ禍による価格低下が に加入。近年の異常気象や 2021年から収入保険 安定し

尽きない。 を加工し販売する。 を増やすためのアイデアは らに、生産地で茶を楽しむ 台に企画したい考えだ。さルランニング」を俵峰を舞 登山道などを走る「トレイ 完成後は、ワサビ漬けなど は、間もなく完成予定だ。 カフェなど地元への来訪者 には陸上の経験を生かし、 現在、 建設中の加工場 将来的

はの農産物を知り、 俵峰を訪れ、 なってもらえたら」と話 な雰囲気と、この地ならで 喜紀さんは「多くの人が 地域ののどか 好きに